



9月定例会

ピックアップ



補正予算の主な質疑

(一般会計 第4号)

補正総額 12億819万2,000円

◎賛成多数で可決

商工費

つばめ未来産業プロジェクト事業

276万3,000円

ものづくりテーマパーク事業、ものづくり現場力強化研究会の実施など。

問 情報発信拠点整備で産地の課題を改善・解決していくということだが、具体的な事業説明を。ものづくり現場力強化事業でアドバイザー謝金があるが、どういう人を予定しているのか。

答 燕という洋食器のイメージが強いことが、これまでの研究で明らかになった。産業史料館に情報発信拠点を整備することで、さまざまな技術があることを発信していきたい。アドバイザーとしては現場改善に多くの実績のあるIH 石川島播磨重工業の顧問をしている人をお願いをしたい。技術力はあるが、その底上げを図るために現場改善に力を入れていきたい。基盤強化も課題としている。

総務費

防犯カメラ設置補助金 120万円

防犯カメラを設置する各地区の防犯組合に補助をするもの。20台分を予算計上。

問 各地区の防犯組合の要望はどうか。補助率はどのようになっているのか。運用経費はどうか。

答 吉田地区で12台の設置要望がある。補助率は2分の1で、上限は1台6万円。運用経費は見えない。

児童福祉費

移動式赤ちゃんの駅整備事業

28万8,000円

乳幼児の授乳やおむつ替え等に利用できる組立方式のテント。

問 何台購入するのか。市民が実施するイベントへの貸し出しは可能か。費用負担はあるのか。

答 1セットを購入する。イベントへの貸し出しは可能で費用は無料。

土木費

道路維持費 3,150万円

細かい道路修理。カーブミラーの修理や水銀灯修理などを実施・排水路の防護策の設置など。

問 補正の中身について。危険箇所についての把握の状況は。

答 平成22年に排水路の危険箇所の点検を実施。40カ所、トータルで延長11.7kmを確認。順次修繕費の中で取り組みをしていく。今後も関係団体と協力しながら危険箇所の把握に努めていきたい。燕駅裏幹線の改修600mを予定している。



教育費

小学校費 分水小学校外壁改修工事

3,100万円

継続費 分水小学校の外壁落下防止工事

8,000万7,000円

問 分水小学校の外壁工事業は26年度割額から27年度まで持ち越すように継続費が出されているが、ということか。

答 26年度分の補正は3,100万円で単年度で終了できるような工事ではない。大がかりな工事になるので、財政当局と検討した結果26年度・27年度の継続事業となった。27年度の継続費の負担分は8,000万7,000円になる。



外壁が剥がれ落ちた校舎